

# 令和7年度 北海道白糠高等学校 キャリア教育全体計画

<b>北海道教育推進計画</b> ○ 道徳教育の充実 ○ 豊かな感性を育む教育の充実 ○ 人権教育、男女平等教育の充実 ○ アイヌの人たちの歴史や文化などについて理解を深める学習の充実	<b>学校教育目標</b> 1 自ら考え、実行する生徒であれ 2 どんなことにも、精一杯立ち向かう生徒であれ 3 心身ともに、健康で、たくましい生徒であれ 4 豊かな心を持ち、物事に感動する生徒であれ	<b>生徒の課題</b> ○ 社会性・規範意識の育成 ○ 自己肯定感の育成 ○ 学習習慣の定着 ○ 特別な支援を要する生徒への対応 ○ 学力上位生徒の進路指導 ○ 幅広い学力層に対応する指導の充実
<b>関係法規等</b> ○ 日本国憲法 ○ 教育基本法 ○ 学校教育法・学習指導要領及び解説 ○ 北海道教育推進計画 ○ 職業安定法 ○ いじめ防止対策推進法 ○ 障がい者差別解消法 など	<b>スクールミッション</b> 1 地域の高校として、地域の教育資源を活用した教育活動を通じて、地域の未来を創っていく生徒の育成 2 集団生活や特別活動等を通じて、コミュニケーション能力や豊かな人間性を身に付けた生徒の育成 3 ICTを活用した授業等による手厚い指導を通じて、自ら学習意欲や基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けた生徒の育成 4 地域との協働体制(コンソーシアム)を確立し、地域と一体となって生徒を育む「地域とともにある学校」を構築する	<b>保護者・地域の声</b> ○ 心身ともに健康で、望ましい生活習慣を身につけて欲しい。 ○ 社会のルールやマナーを守り、それぞれの夢や希望に向かって挑戦し、成長する豊かな心を育んで欲しい。

育成を目指す資質・能力に関する方針(グラデュエーション・ポリシー)	
○ 基礎的・基本的な学力と技能(基礎学力) ○ 多様な意見を受け入れながら、自らの考えを表現する力(コミュニケーション力) ○ ルールの意味を考えながら、自発的にルールを守る力(規律性) ○ 自己を理解し、生活習慣を見直しながら自ら改善する力(自己管理能力)	○ ICT機器を適切に活用して情報を収集、処理、表現する力(情報活用力) ○ 働くことを理解し、将来を設計する力(未来設計力) ○ 他者と協調・協働しながら、課題を発見・解決する力(協働力・課題解決力) ○ 地域の自然や環境を理解し、よりよい地域社会を形成する力(社会形成力)

教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)
○ 地域に開かれた教育課程～地域の人的・物的資源を有効活用した教育活動を展開する。 ○ 主体的・対話的な学び～見通しを立てながら学んだり、振り返って次に生かしたりする活動を重視する。 ○ 基礎・基本の重視～基礎・基本の確実な定着を重視し、必修科目を中心とした教育課程を編成する。 ○ 個別最適な学びの表現～ICT機器を有効活用し、個に応じた教育活動を展開する。 ○ 学ぶ目的の明確化～育成を目指す資質・能力を明確化した上で教育活動を展開する。 ○ アウトプットの重視～生徒自身が考え、その考えを適切な手段で他者に伝える活動を重視する。 ○ 「生きる力」の育成～多様な人々との関わりや体験的な学びを重視する。

指導上の重点事項(重点目標)
1 自己肯定感の育成に向けて、基礎・基本の定着と指導と評価の一体化した充実を目指した工夫改善と学習習慣の確立に努める。 2 自走できる生徒の育成に向けて、主体的な自己管理能力の育成と望ましい基本的生活習慣の定着に努めるとともに、家庭・地域と連携しながら生徒理解に努め、個に適した支援を推進する。 3 経験にもとづくキャリアに対する意識を高め、自己を理解し、主体的に進路を選択し、積極的に実現に挑む姿勢の育成を図る。 4 健康・安全についての理解を深め、自他の生命の尊重と安全・環境への意識の向上に努める。

指導上の重点事項(進路指導)
1 「産業社会と人間」及び「総合的な探究の時間」を中心としたキャリア教育を通じて、「育成を目指す資質・能力」を身に付けさせるとともに、卒業後のキャリア形成を意識させ、望ましい職業観・勤労観を育成する。 2 進路実現に必要な資料提供、ガイダンス、講習、カウンセリング等の充実に努める。 3 保護者、公営塾、外部機関と連携し、共通理解を深めながら適切な進路指導を行う。

産業社会と人間	道徳教育
産業社会における自己の在り方や生き方について考えさせ、体験学習や討論などを通して職業の選択決定に必要な能力・態度、将来の職業生活に必要な態度やコミュニケーション能力を養う。 現実の産業社会やその中で自己の在り方や生き方について認識させ、豊かな社会を築くために積極的に寄与する意欲や態度を育成する。	インターンシップや企業訪問、ガイダンスを通して職業観や勤労観を養い、社会の常識や礼儀作法、コミュニケーション能力の大切さを学ばせる

具体的な目標
1 将来の職業選択を視野に入れた自己の進路への自覚を深めさせる。 2 生徒の個性を生かした主体的な学習を通して、学ぶことの楽しさや成就感を体験させる。 3 集団の中で自分の役割を認識し、多様な他者との関わりの中で円滑な人間関係を築かせる。

具体的な実施内容
コミュニケーション力: ワークショップ(1年)、インターンシップ(2年) 自己管理: 進路適性検査(1, 2年)、ライフプラン作成(1年)、インターンシップ(2年) 情報活用: 職業・学校調べ(1年)、ライフプラン作成(1年)、インターンシップ(2年) 未来設計: インターンシップ報告会(1年)、おしごと体験(1年)、インターンシップ(2年)、道新合同企業説明会(2年) 協働・課題: ワークショップ(1年)、インターンシップ(2年) 社会形成: インターンシップ報告会(1年)、企業見学(1年)、おしごと体験(1年)、職業・上級学校調べ(1年)、インターンシップ(2年)、道新合同企業説明会(2年)

外部機関との連携	特別活動(LHR)
○ コミュニティスクール及びコンソーシアムを中核とした地域との連携 ○ 釧路教育局進路相談員によるキャリアカウンセリング、履歴書指導、進路講話、模擬面接指導 ○ ハローワークしるす学卒ジョブサポーターによる求人相談、模擬面接 ○ 久遠塾との連携 ○ スタディサプリの活用	○ ホームルーム活動を通して、外部講師による面接練習による進路活動、ルールやマナーを遵守する態度、集団の一員としての在り方や自己を活かす能力を育てる。 ○ 生徒会活動を通して地域理解から自己と社会との関わりを学ぶ。 ○ 学校行事を通して集団行動の中で自立心を養い、自主的・自律的に生活するために必要な判断や対処する能力を養う。